

1	(1)	400	(2)	211	(3)	15	(4)	2
	(5)	65	(6)	211	(7)	7 (分)	(8)	40 (日)
	(9)	48	(10)	50 (cm)	(11)	540	(12)	301

2	(1)	5 g	(2)	7 g
---	-----	-----	-----	-----

3	(1)	7 ㇀	(2)	5 ㇀
---	-----	-----	-----	-----

4	(1)	10 cm	(2)	44 cm
---	-----	-------	-----	-------

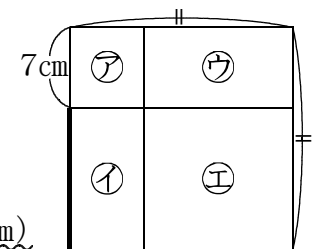
5	(1)	3 時 36 分	(2)	24 (分)
---	-----	----------	-----	--------

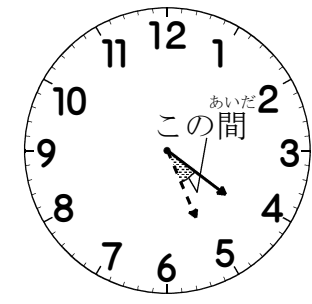
6	(1)	3 (4) 5 (6) 7 (8) 9 (10) 11	(2)	6
---	-----	-----------------------------	-----	---

- 1 (4) $24 + 74 - 23 - 73 = 1 + 1 = 2$
- (5) $15 + \square = 80$
 $\square = 80 - 15 = 65$
- (6) $\square - 112 = 99$
 $\square = 99 + 112 = 211$
- (7) 1分 = 60秒
 $420 \text{ 秒} = 60 \text{ 秒} \times 7 \rightarrow 7 \text{ 分}$
- (8) 1週間 = 7日 5週間 = $7 \times 5 = 35$ (日)
 $35 + 5 = 40$ (日)
- (9) $\square + 14 + 4 = 66$
 $\square + 18 = 66$
 $\square = 66 - 18 = 48$
- (10) $40 = 10 \times 4$ $10 \times 2 = 20$ (cm) …横
 $10 \div 2 = 5$ (cm) …たて
 $5 + 5 + 20 + 20 = 50$ (cm)
- (11) $600 - 500 = 100 = 20 \times 5$
 ㊦は、 $500 + 20 + 20 = 540$
- (12) 問題文から、 $\text{㊦} > \text{㊥} > \text{㊤}$ なので、下2つが2けたの数でなるべく大きくなる時。㊦ = 99のときで、 $99 - 34 = 65$ 、 $65 + 72 = 137$ より、合計は、 $99 + 65 + 137 = 301$

- 2 (1) 赤い玉3こは、青い玉4こより1g重い、青い玉5こより4g軽い。青い玉が4こから5こへ1こふえることで、 $1 + 4 = 5$ (g)重くなっている。よって、青い玉1こは5g。
- (2) $5 \times 4 + 1 = 21$ (g) …赤い玉3こ
 $21 = 7 \times 3$
 よって、赤い玉1こは7g。

- 3 (1) こ数が少なくなるのは、ねだんの高いものを多く買うとき。
 $15 + 15 + 15 + 15 + 15 + 15 = 90$ (ドル)
 $100 - 90 = 10$ (ドル)
 ワッフル1ことメープルシロップ6こで、7こ。
- (2) まず、クッキーを2こ買う。 $5 \times 2 = 10$ (ドル)
 これ以外では、クッキーとワッフルとメープルシロップのこ数は同じなので、1こずつ買うと代金は、 $5 + 10 + 15 = 30$ (ドル)
 $100 = 10 + 30 + 30 + 30$ なので、3こずつ買うことになる。
 よってクッキーは、 $2 + 3 = 5$ (こ)買う。

- 4 (1) ㊦と㊥の横の長さは同じなので、6cmはたての長さ2本のちがいで、 $6 = 3 + 3$ より、㊥のたての長さは、 $7 + 3 = 10$ (cm)
- 
- (2) $6 + 8 = 14$ (cm) …㊦と㊥のちがいで、 $7 + 10 = 17$ (cm) …正方形の1辺
 $14 = 7 \times 2$ より、㊦の横は7cmより、㊥の横は㊦の横より7cm長い。右の図で、 $17 + 7 = 24$ (cm)
 $24 = 12 + 12$ ㊥の横は12cm。
 $10 + 12 = 22$ (cm) $22 + 22 = 44$ (cm)

- 5 (1) 長針が0分、12分、24分、36分、48分をさすとき、「ちょうど時刻」。短針は3と4の間なので、3時台。長針は7と8の間なので、36分をさしている。よって、3時36分。
- (2) 長針は1周しているが、短針と重なっていない。つまり右の図のように、4時台から5時台にかけて少し短針が進むことによって、長針が短針を追い抜かせなかったため、長針はこの間にいたことになる。そのような「ちょうど時刻」は、図から24分しかありえないので、㊦は24。
- 

- 6 (1) $1 + 3 = 4$, $2 + 4 = 6$, $3 + 5 = 8$,
 $4 + 6 = 10$ のどれか。
- (2) $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 = 21$
 $21 - 7 = 14$ …あつきとかずやのカードの合計
 この14から、4か6か8か10をひくと、かずやの取った2枚のカードの合計になり、それは、10か8か6か4。また、かずやの取ったカードは、(1と2) (2と4) (3と6)のどれかなので、合計は3か6か9。このことから、かずやの取ったカードの合計は6で、そのカードは2と4とわかる。よって、あつきの取った2枚のカードの合計は、 $21 - 7 - 6 = 8$ で、これは3と5とわかる。のこる2枚のカードは1と6で、これがさとしの取ったカード。よって、大きい方のカードは6。

(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10
 6(1) ; 完答